



各 位

上場会社名  
代表者  
(コード番号  
問合せ先責任者  
(TELミナトエレクトロニクス株式会社  
代表取締役社長 板津 弘典  
6862)  
常務取締役 須永 牧夫  
045-591-5611)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年8月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	900	15	5	0	0.00
今回修正予想(B)	721	△113	△124	△122	△7.37
増減額(B-A)	△178	△128	△129	△122	
増減率(%)	△19.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

#### 修正の理由

##### (1) 第2四半期

売上高につきましては、計測関連セグメントの主力でありますデバイスプログラムの売上は東日本大震災の影響などからやや計画を下回る見込みです。また、システム関連セグメントにおいても金融端末向け小型タッチパネルは計画を上回る売上となるものの大型タッチパネルの売上が製品開発の遅れなどから当初見込んだ主な案件の受注が全て下期にずれ込むことから計画を大幅に下回り、売上高は721百万円と予想比178百万円の減収となる見込みです。

営業損益につきましては、売上高の減少により固定費の負担が重くなったことに加え比較的に利益率の良い製品の売上が伸び悩んだことなどにより、予想比128百万円減益の営業損失113百万円となる見込みです。

経常損益につきましても、営業外損益はほぼ予想どおりに推移していることから前述と同様、予想比129百万円減益の経常損失124百万円となる見込みです。

四半期純損益につきましては、上記の理由により、予想比122百万円減益の四半期純損失122百万円となる見込みです。

##### (2) 通期

通期の見通しにつきましては、第2四半期に入りデバイスプログラムの受注がほぼ予定どおりに推移してきていること、ならびに周辺機器のオートハンドラの引き合いが具体化してきつつあることなどから、また、上期に予定した大型タッチパネルの売上が下期に集中することなどから通期の業績予想は当初の予想を変更いたしません。

(注)上記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上